

「ターボ機械の強度設計」

日本のターボ機械の性能と品質は世界トップの実力を誇っている。この卓越した技術力を保持するため、国内各社は継続した研究開発と生産技術力の向上に尽力している。一方で、高速化や可変速などの要求が強まる中、回転部品の損傷問題への対応が更に重要性を高めてきている。主な損傷は流体加振力による疲労破壊であり、それに対する強度設計上の配慮や問題発生時における検討のポイントを理解しておくことが特に重要である。

本講座では、ターボ機械の回転体を主体とした構造物の強度設計に焦点を当て、事故解析を含めた構造解析（静的、動的）CAE 技術、材料工学、疲労強度評価についての実践的な解説を通じて、ターボ機械技術者のレベルアップを図ります。本講座は過去にも大変ご好評を頂いておりますが内容が更に充実されました。ターボ機械の設計・開発、生産技術、品質保証、保全等の業務に関わる技術者の方々奮ってご参加ください。

・協賛（予定）

（社）日本機械学会、（社）火力原子力発電技術協会、（社）日本原子力学会、
（社）化学工学会、（社）日本水道協会、（社）日本プラントメンテナンス協会

・日時：2010年11月8日（月）9：30～16：50

・会場：機械振興会館 地下三階 研修1室

・参加費：会員 35,000 円 、非会員 50,000 円 、学生 10,000 円

【プログラム】

時間	テーマ	内容	講師（敬称略）
9:30 ～10:40	事故例に基づく強度設計概論	外力による構造物の変形で発生する応力と材料強度との比較から、構造物の安全性を評価する手法について紹介する。また事故例についても概説する。	岐阜大学 服部 敏雄
10:50 ～11:50	構造解析（静的、動的）CAE技術	材料力学の公式と解法、有限要素法などの解析手法による応力算出方法、形状急変部の応力集中、き裂部の応力拡大係数の考え方、などを解説する。	
13:00 ～14:30	材料工学と強度評価	繰返し荷重による疲労き裂の発生・進展メカニズムとその評価方法、ストライエーションからの繰返し回数や変動応力の算出など、材料の特性も含めて解説する。	(株)荏原製作所 早房 敬祐
14:40 ～16:50	設計手法のノウハウ	具体的な設計事例に基づき、形状急変部における応力集中緩和法、緩み難いネジの締結方法など、信頼性を向上させる様々なノウハウを解説する。	岐阜大学 服部 敏雄

プログラムは都合により変更することがありますのでご了承ください。

・定員：60名

・申込方法：E-mail または FAX で、参加者名、連絡先住所、電話番号、社名（学校名）、所属、会員/非会員の別を明記の上お申込ください。

・参加費は事前に、現金書留または銀行振込にてお支払いください。

振込銀行：みずほ銀行 駒込支店、普通預金 932599 ターボ機械協会

・申込先：〒113-8610 東京都文京区本駒込 6-3-26 日本工業出版ビル

ターボ機械協会事務局 セミナー受付係

(TEL:03-3944-8002, FAX:03-3944-6826, E-mail:turbo-so@pop01.odn.ne.jp)

・申込期限：定員になり次第締切ります。

ターボ機械協会継続教育制度が開始され、各講習会・セミナーに参加されるとポイントが付加されます。「本セミナーのターボ機械協会 CPD ポイントは中級 5.7 です。」

宛先: Fax . 03-3944-6826 タ - ボ機械協会 受付係

(〒113-8610 東京都文京区本駒込 6-3-26、

Tel: 03-3944-8002、 E-mail: turbo-so@pop01.odn.ne.jp)

ターボ機械協会 第 95 回セミナー (平成 22 年 11 月 8 日 月曜日)

「ターボ機械の強度設計」

参加申込書

参加者ご氏名	
連絡先住所・TEL・FAX・ E-MAIL	(〒 -) TEL: FAX: E-MAIL:
会社名・ご所属	会社名: ご所属:
会員・非会員	会員 or 非会員 (いずれかに をつけてください)

上記 名の参加を申し込みます。